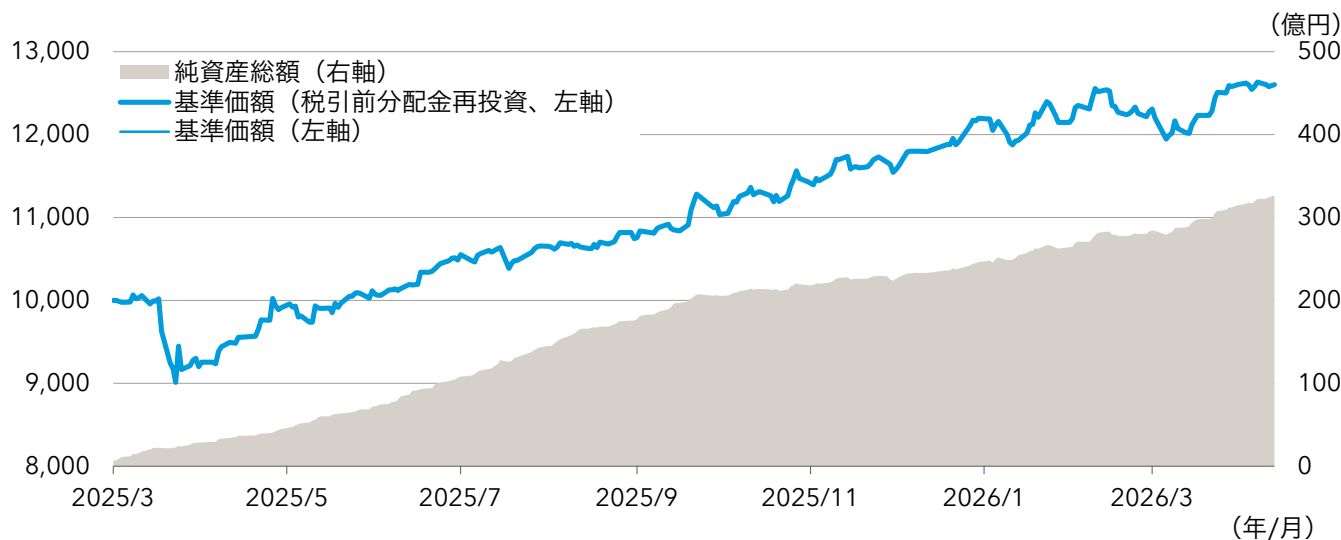


キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド
 キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド (米ドル売り円買い)
 キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド年2回決算 (分配重視)
 キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド年2回決算 (分配重視/米ドル売り円買い)
 追加型投信/内外/資産複合

キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド

基準価額 (1万口当たり)	純資産総額	設定日：2025年3月18日
12,602 円	326.8 億円	信託期間：無期限
		決算日：毎年6月20日 (休業日の場合は翌営業日)

設定来の運用実績および純資産の推移



期間収益率

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
ファンド	4.9%	5.6%	11.4%	32.9%	-	26.0%

分配金推移 (1万口当たり、税引前)

決算期 (決算年月)	第1期 (2025年6月)	第2期 (2026年6月)	第3期 (2027年6月)	第4期 (2028年6月)	設定来 累計
分配金	0 円	- 円	- 円	- 円	0 円

資産構成比率

	(%)
キャピタル・インカム・ビルダー・マザーファンド	99.3
CIB (クラスC)	99.2
日本短期債券ファンド	0.0
現金等	0.1
現金・未払い費用等	0.7
合計	100.0

基準価額変動要因 (前月末比)

基準価額騰落額	+586 円
株式要因	+466 円
債券要因	+7 円
為替要因	+122 円
分配金	0 円
信託報酬等	-9 円

※ 基準価額 (税引前分配金再投資) は、税引前分配金を再投資したものととして算出しています。
 ※ 基準価額および基準価額 (税引前分配金再投資) は、設定日を10,000として指数化しています。基準価額は、信託報酬控除後の値です。
 ※ 期間収益率は、税引前分配金を再投資したものととして計算した理論上のものであることにご留意ください。また、期間収益率は実際の投資家利回りとは異なります。
 ※ 分配金は、過去の実績であり将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
 ※ 基準価額変動要因は、当社が一定の条件に基づいて算出した概算値を参考として表示しています。
 ※ 資産構成比率は、純資産総額に対する比率です。現金・未払い費用等には、未払い項目が含まれるため、比率がマイナスになる場合があります。
 ※ ファンドの名称は、略称で表示している場合があります。ファンドの正式名称は後記「ファンドの名称について」をご覧ください。

当資料の最終ページに記載した「当資料のご利用にあたっての注意事項」をお読みください。

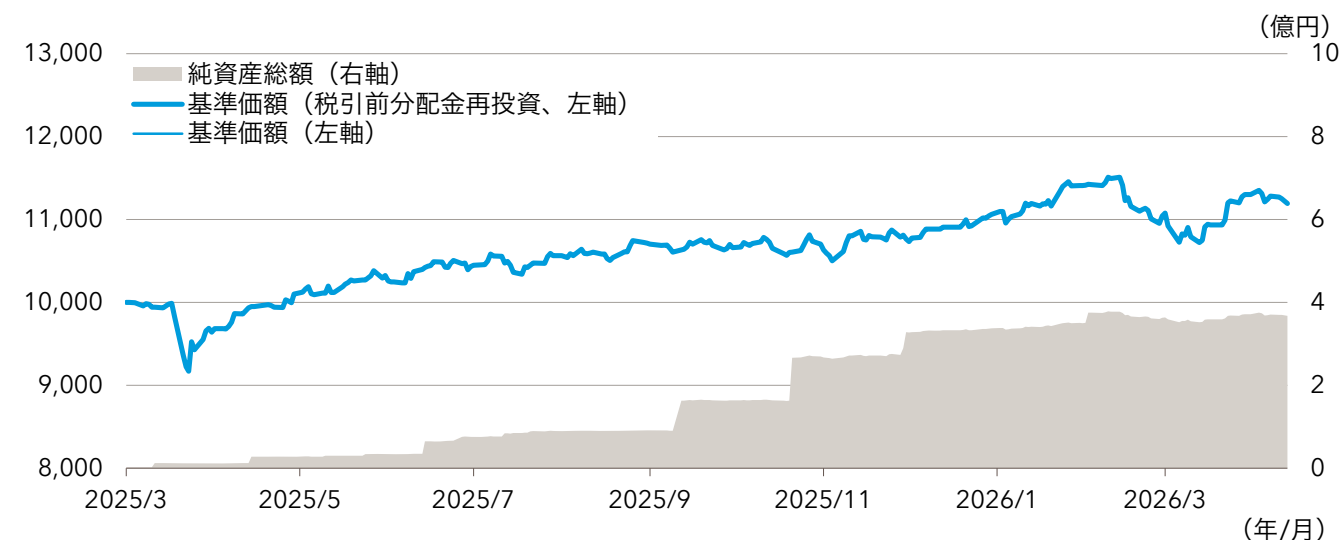


キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド
 キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド (米ドル売り円買い)
 キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド年2回決算 (分配重視)
 キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド年2回決算 (分配重視/米ドル売り円買い)
 追加型投信/内外/資産複合

キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド (米ドル売り円買い)

基準価額 (1万口当たり)	純資産総額	設定日：2025年3月18日
11,194 円	3.7 億円	信託期間：無期限
		決算日：毎年6月20日 (休業日の場合は翌営業日)

設定来の運用実績および純資産の推移



期間収益率

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
ファンド	4.2%	0.0%	5.1%	12.7%	-	11.9%

分配金推移 (1万口当たり、税引前)

決算期 (決算年月)	第1期 (2025年6月)	第2期 (2026年6月)	第3期 (2027年6月)	第4期 (2028年6月)	設定来 累計
分配金	0 円	- 円	- 円	- 円	0 円

資産構成比率

	(%)
キャピタル・インカム・ビルダー・マザーファンド (米ドル売り円買い)	100.0
CIB (クラスCh-JPY)	99.9
日本短期債券ファンド	0.0
現金等	0.1
現金・未払い費用等	-0.0
合計	100.0

基準価額変動要因 (前月末比)

基準価額騰落額	+447 円
株式要因	+417 円
債券要因	+6 円
為替要因	+65 円
分配金	0 円
信託報酬等	-41 円

※ 基準価額 (税引前分配金再投資) は、税引前分配金を再投資したものととして算出しています。
 ※ 基準価額および基準価額 (税引前分配金再投資) は、設定日を10,000として指数化しています。基準価額は、信託報酬控除後の値です。
 ※ 期間収益率は、税引前分配金を再投資したものととして計算した理論上のものであることにご留意ください。また、期間収益率は実際の投資家利回りとは異なります。
 ※ 分配金は、過去の実績であり将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。
 ※ 基準価額変動要因は、当社が一定の条件に基づいて算出した概算値を参考として表示しています。
 ※ 資産構成比率は、純資産総額に対する比率です。現金・未払い費用等には、未払い項目が含まれるため、比率がマイナスになる場合があります。
 ※ ファンドの名称は、略称で表示している場合があります。ファンドの正式名称は後記「ファンドの名称について」をご覧ください。

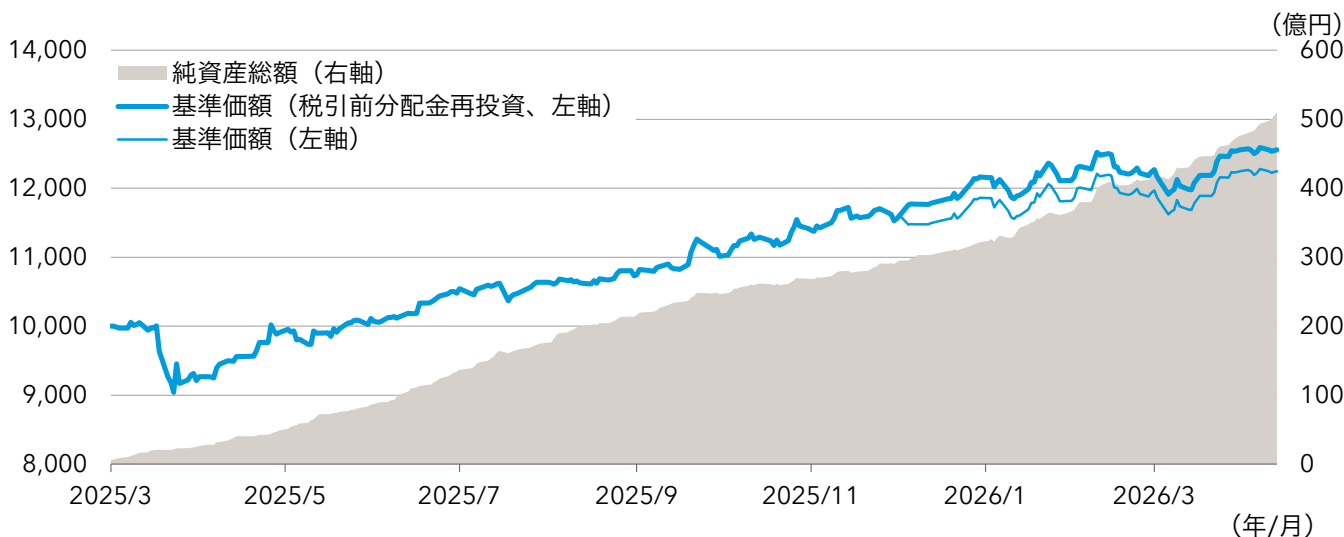
当資料の最終ページに記載した「当資料のご利用にあたっての注意事項」をお読みください。

キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド
 キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド (米ドル売り円買い)
 キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド年2回決算 (分配重視)
 キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド年2回決算 (分配重視/米ドル売り円買い)
 追加型投信/内外/資産複合

キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド年2回決算 (分配重視)

基準価額 (1万口当たり)	純資産総額	設定日：2025年3月18日
12,247 円	509.9 億円	信託期間：無期限
		決算日：毎年6月20日および12月20日 (休業日の場合は翌営業日)

設定来の運用実績および純資産の推移



分配金推移 (1万口当たり、税引前)

決算期 (決算年月)	第1期 (2025年6月)	第2期 (2025年12月)	第3期 (2026年6月)	第4期 (2026年12月)	第5期 (2027年6月)	第6期 (2027年12月)	第7期 (2028年6月)	第8期 (2028年12月)	第9期 (2029年6月)	設定来 累計
分配金	0 円	290 円	- 円	- 円	- 円	- 円	- 円	- 円	- 円	290 円

期間収益率

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
ファンド	4.8%	5.5%	11.2%	32.3%	-	25.6%

資産構成比率

	(%)
キャピタル・インカム・ビルダー・マザーファンド (分配重視)	98.3
CIB (クラスCfyd)	98.2
日本短期債券ファンド	0.0
現金等	0.1
現金・未払い費用等	1.7
合計	100.0

基準価額変動要因 (前月末比)

基準価額騰落額	+563 円
株式要因	+453 円
債券要因	+7 円
為替要因	+119 円
分配金	0 円
信託報酬等	-16 円

※ 基準価額 (税引前分配金再投資) は、税引前分配金を再投資したものととして算出しています。
 ※ 基準価額および基準価額 (税引前分配金再投資) は、設定日を10,000として指数化しています。基準価額は、信託報酬控除後の値です。
 ※ 期間収益率は、税引前分配金を再投資したものととして計算した理論上のものであることにご留意ください。また、期間収益率は実際の投資家利回りとは異なります。
 ※ 分配金は、過去の実績であり将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり方が小さかった場合も同様です。
 ※ 基準価額変動要因は、当社が一定の条件に基づいて算出した概算値を参考として表示しています。
 ※ 資産構成比率は、純資産総額に対する比率です。現金・未払い費用等には、未払い項目が含まれるため、比率がマイナスになる場合があります。
 ※ ファンドの名称は、略称で表示している場合があります。ファンドの正式名称は後記「ファンドの名称について」をご覧ください。

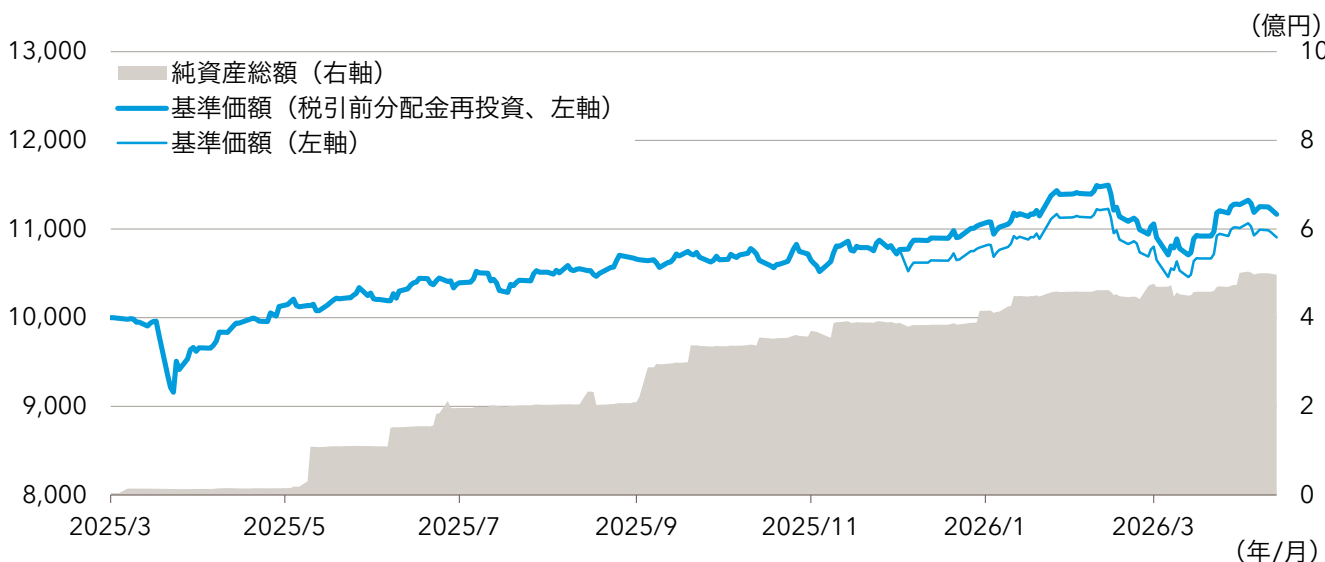
当資料の最終ページに記載した「当資料のご利用にあたっての注意事項」をお読みください。

キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド
 キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド（米ドル売り円買い）
 キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド年2回決算（分配重視）
 キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド年2回決算（分配重視/米ドル売り円買い）
 追加型投信/内外/資産複合

キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド年2回決算（分配重視/米ドル売り円買い）

基準価額（1万口当たり）	純資産総額	設定日：2025年3月18日
10,907 円	5.0 億円	信託期間：無期限
		決算日：毎年6月20日および12月20日（休業日の場合は翌営業日）

設定来の運用実績および純資産の推移



分配金推移（1万口当たり、税引前）

決算期 (決算年月)	第1期 (2025年6月)	第2期 (2025年12月)	第3期 (2026年6月)	第4期 (2026年12月)	第5期 (2027年6月)	第6期 (2027年12月)	第7期 (2028年6月)	第8期 (2028年12月)	第9期 (2029年6月)	設定来 累計
分配金	0円	250円	-円	-円	-円	-円	-円	-円	-円	250円

期間収益率

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
ファンド	4.0%	-0.1%	4.9%	12.7%	-	11.7%

資産構成比率

	(%)
キャピタル・インカム・ビルダー・マザーファンド（分配重視/米ドル売り円買い）	100.0
CIB（クラスCfydh-JPY）	99.9
日本短期債券ファンド	0.0
現金等	0.1
現金・未払い費用等	-0.0
合計	100.0

基準価額変動要因（前月末比）

基準価額騰落額	+421 円
株式要因	+407 円
債券要因	+6 円
為替要因	+63 円
分配金	0 円
信託報酬等	-55 円

※ 基準価額（税引前分配金再投資）は、税引前分配金を再投資したものととして算出しています。
 ※ 基準価額および基準価額（税引前分配金再投資）は、設定日を10,000として指数化しています。基準価額は、信託報酬控除後の値です。
 ※ 期間収益率は、税引前分配金を再投資したものととして計算した理論上のものであることにご留意ください。また、期間収益率は実際の投資家利回りとは異なります。
 ※ 分配金は、過去の実績であり将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり方が小さかった場合も同様です。
 ※ 基準価額変動要因は、当社が一定の条件に基づいて算出した概算値を参考として表示しています。
 ※ 資産構成比率は、純資産総額に対する比率です。現金・未払い費用等には、未払い項目が含まれるため、比率がマイナスになる場合があります。
 ※ ファンドの名称は、略称で表示している場合があります。ファンドの正式名称は後記「ファンドの名称について」をご覧ください。

当資料の最終ページに記載した「当資料のご利用にあたっての注意事項」をお読みください。

キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド
 キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド（米ドル売り円買い）
 キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド年2回決算（分配重視）
 キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド年2回決算（分配重視/米ドル売り円買い）
 追加型投信/内外/資産複合

当ファンドの主要投資対象ファンド「キャピタル・グループ・キャピタル・インカム・ビルダー（LUX）」の運用状況

資産別構成比率

資産 種別	比率
株式	77.2%
債券	17.7%
国債・政府機関債等	6.4%
社債	6.1%
その他証券	5.1%
現金・その他	5.1%
合計	100.0%

特性値（株式部分）

銘柄数	282
配当利回り	3.0%

特性値（債券部分）

銘柄数	931
最終利回り	5.1%
デュレーション	6.7年
平均格付け	A

国別構成比率

国・地域	比率
米国	57.0%
英国	7.9%
フランス	4.5%
台湾	3.9%
日本	3.8%
その他国・地域	17.6%
現金・その他	5.1%
合計	100.0%

通貨別構成比率

通貨	比率
米ドル	58.8%
ユーロ	10.0%
英ポンド	7.5%
台湾ドル	3.9%
日本円	3.8%
その他通貨	10.7%
現金・その他	5.1%
合計	100.0%

業種別構成比率

業種	比率
金融	15.1%
情報技術	11.9%
資本財・サービス	8.7%
生活必需品	8.0%
ヘルスケア	8.0%
その他業種	25.5%
債券	17.7%
現金・その他	5.1%
合計	100.0%

※ 当ページは、当ファンドが実質的に投資する各クラスのもとになるキャピタル・グループ・キャピタル・インカム・ビルダー（LUX）の運用状況です。
 ※ 国についてはMSCI分類、業種はGICS（世界産業分類基準）に基づいていますが、当社の判断に基づき分類したものが含まれる場合があります。
 ※ ポートフォリオ特性値は、キャピタル・グループ・キャピタル・インカム・ビルダー（LUX）」の特性を理解していただくために参考として表示しており、当ファンドの将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ※ 平均格付けはスタンダード&プアーズ、ムーディーズ・インベスターズ・サービス、フィッチ・レーティングスが付与した格付けのなかで最も高い格付けを加重平均したものです。格付けの表記については、スタンダード&プアーズの表記方法を用いて表示しています。

当資料の最終ページに記載した「当資料のご利用にあたっての注意事項」をお読みください。

当ファンドの主要投資対象ファンド「キャピタル・グループ・キャピタル・インカム・ビルダー（LUX）」の運用状況

株式組入上位10銘柄

銘柄	国・地域	業種	配当利回り	比率
1 ブロードコム	米国	情報技術	0.6%	4.4%
2 台湾セミコンダクター・マニュファクチャリング	台湾	情報技術	1.0%	3.6%
3 フィリップ モリス インターナショナル	米国	生活必需品	3.6%	2.6%
4 ブリティッシュ・アメリカン・タバコ	英国	生活必需品	5.7%	1.8%
5 アッヴィ	米国	ヘルスケア	3.3%	1.4%
6 RTX	米国	資本財・サービス	1.7%	1.3%
7 カナディアン・ナチュラル・リソースズ	カナダ	エネルギー	3.9%	1.3%
8 JP モルガン・チェース	米国	金融	1.9%	1.2%
9 アストラゼネカ	英国	ヘルスケア	1.7%	1.1%
10 マイクロソフト	米国	情報技術	0.9%	1.1%

債券組入上位10銘柄

銘柄/クーポン/償還日	通貨	債券種別	最終 格付け	最終 利回り	比率
1 米国債 3.875% 2028/3/31	米ドル	国債・政府機関債等	AA	3.9%	1.6%
2 米国債 4.625% 2055/11/15	米ドル	国債・政府機関債等	AA	5.0%	0.8%
3 米国債 4.125% 2036/2/15	米ドル	国債・政府機関債等	AA	4.4%	0.7%
4 米国債 3.875% 2031/3/31	米ドル	国債・政府機関債等	AA	4.1%	0.7%
5 米国債 4.625% 2046/2/15	米ドル	国債・政府機関債等	AA	5.0%	0.5%
6 米国債 4.25% 2033/3/31	米ドル	国債・政府機関債等	AA	4.2%	0.5%
7 米国債 4.75% 2056/2/15	米ドル	国債・政府機関債等	AA	5.0%	0.3%
8 ユニフォームMBS 3.0% 2056/5/1	米ドル	その他債券	AA	5.0%	0.2%
9 ユニフォームMBS 3.5% 2056/5/1	米ドル	その他債券	AA	5.0%	0.2%
10 米国債 4.0% 2027/1/15	米ドル	国債・政府機関債等	AA	3.7%	0.2%

※ 当ページは、当ファンドが実質的に投資する各クラスのもとなるキャピタル・グループ・キャピタル・インカム・ビルダー（LUX）の運用状況です。
 ※ 国についてはMSCI分類、業種はGICS（世界産業分類基準）に基づいていますが、当社の判断に基づき分類したものが含まれる場合があります。
 ※ 配当利回り、格付け、最終利回りは、各銘柄の特性を理解していただくために参考として表示しています。
 ※ 格付けはスタンダード&プアーズ、ムーディーズ・インベスターズ・サービス、フィッチ・レーティングスが付与した格付けのなかで最も高い格付けを加重平均したものです。
 格付けの表記については、スタンダード&プアーズの表記方法を用いて表示しています。

当資料の最終ページに記載した「当資料のご利用にあたっての注意事項」をお読みください。

運用状況と今後の方針

<市況>

2026年4月の世界の株式市場*は上昇しました。前半は、中東情勢への懸念が和らいだことから上昇して始まりました。米国とイランが一時停戦に合意したことで不安材料が後退すると、リスク選好が強まってAI・半導体関連株がけん引し一段高となりました。後半は、中東情勢の収束期待が引き続き高まる一方、ホルムズ海峡の封鎖が続きエネルギー供給への懸念も残ったことや米国の利下げ期待が後退したことなどから市場では慎重姿勢が強まり、上昇ペースは鈍化しました。セクター別では、エネルギーとヘルスケアが下落した一方、情報技術やコミュニケーション・サービスなど、その他のセクターは軒並み上昇しました。

米国の長期金利は上昇しました。エネルギー価格の高止まりに伴うインフレへの懸念や利下げ期待の後退などから、月間では上昇しました。

* MSCI AC Worldインデックス（現地通貨ベース、税引後配当再投資）

<運用概況および今後の見通し>

各マザーファンドが主要投資対象とするキャピタル・グループ・キャピタル・インカム・ビルダー(LUX)の運用においては、株式のリターン（現地通貨ベース）はプラスとなりました。株式のセクター別では、情報技術や金融などがプラスに寄与した一方、エネルギーやコミュニケーション・サービスなどはマイナスに寄与しました。

世界経済は中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー供給への懸念などから不透明感が強まっています。株式市場は中東情勢次第で大きく変動する可能性があります。

米国の利下げサイクルが継続すると予想される一方、全体としては金利の変動性が高い展開が続いています。政治やインフレの動向、FRB（米連邦準備制度理事会）のスタンス次第では、今後も金利水準の変動しやすい状況が続くとみられます。

市場のリスク要因として、中東・ウクライナ情勢や米中対立といった地政学的な緊張、インフレの再燃とその影響を受けた各国の政権運営の不安定化、米国のAI投資の持続性が挙げられます。こうした見通しのもと、世界各国の株式、債券等のなかから銘柄を厳選し、多様な投資機会にバランス良く投資を行なう方針です。引き続き世界各国の経済および市場動向を注視しながら、長期的な視点に立った運用を継続し、安定的なインカムゲインの確保を目指します。

キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド
 キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド（米ドル売り円買い）
 キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド年2回決算（分配重視）
 キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド年2回決算（分配重視／米ドル売り円買い）
 追加型投信／内外／資産複合

ファンドの特色

マザーファンドへの投資を通じて、内外の投資信託証券(以下「投資対象ファンド」ということがあります。)に投資を行ない、実質的にインカム資産の世界各国の株式、債券等へ分散投資をすることで、信託財産の中長期的な成長を目指します。

※ インカム資産とは、配当金や利息等の収益を得ることができる株式や債券等をいいます。

● 投資対象ファンド

ルクセンブルク籍円建外国投資信託証券「キャピタル・グループ・キャピタル・インカム・ビルダー（LUX）（クラスC）／（クラスCh-JPY）／（クラスCfyd）／（クラスCfydh-JPY）」：主としてインカム資産の世界各国の株式、債券に投資を行ないます。

追加型証券投資信託「日本短期債券ファンド」（適格機関投資家限定）：わが国の短期債券等に投資を行ないます。

※ 実質投資割合は、「キャピタル・グループ・キャピタル・インカム・ビルダー（LUX）」各クラスを高位に維持することを基本とします。

※ 実質的な投資対象ファンドの概要は、投資信託説明書（交付目論見書）の「5. 追加的記載事項」をご覧ください。

● 投資形態 ファンド・オブ・ファンズ



※ ファンドの名称は、略称で表示しています。ファンドの正式名称は、後記「ファンドの名称について」をご覧ください。

● 米ドル売り円買いの有無

「インビル」	対円で為替ヘッジを目的とした為替取引を行なわない「CIB」の特定クラス*に実質的に投資します。
「インビル（分配重視）」	* 「インビル」は（クラスC）、「インビル（分配重視）」は（クラスCfyd）
「インビル（米ドル売り円買い）」	実質的な通貨配分にかかわらず、原則として純資産総額とほぼ同程度程度の米ドル売り円買いの為替取引を行なう「CIB」の特定クラス*に実質的に投資します。
「インビル（分配重視／米ドル売り円買い）」	* 「インビル（米ドル売り円買い）」は（クラスCh-JPY）、「インビル（分配重視／米ドル売り円買い）」は（クラスCfydh-JPY）

● 決算頻度と分配方針

「インビル」	成長を重視するファンドです。 年1回（毎年6月20日（休業日の場合は翌営業日））決算し、分配方針に基づき分配を行ないます。
「インビル（米ドル売り円買い）」	
「インビル（分配重視）」	分配を重視するファンドです。 年2回（毎年6月20日および12月20日（休業日の場合は翌営業日））決算し、分配方針に基づき分配を行ないます。分配金額は、決算時の基準価額に対して2.5%を上限に支払うことを目標とします。
「インビル（分配重視／米ドル売り円買い）」	

※ 収益分配は、基準価額の水準等を勘案して委託会社が決定しますが、分配を行なわないこともあります。（次ページへ続く）

当資料の最終ページに記載した「当資料のご利用にあたっての注意事項」をお読みください。

キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド
キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド（米ドル売り円買い）
キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド年2回決算（分配重視）
キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド年2回決算（分配重視/米ドル売り円買い）
追加型投信/内外/資産複合

ルクセンブルク籍円建外国投資信託証券の運用の特色は以下のとおりです。

- 世界各国の株式、債券を主要投資対象とします。
主としてインカム資産の世界各国の株式、債券に投資を行ない、信託財産の中長期的な成長を目指します。
- キャピタル・グループのグローバルな調査力・運用力を活用します。
- 複数のポートフォリオ・マネジャーが運用に携わることによって、投資対象やアイデアの分散を図り、安定的かつ継続的に運用成果の獲得を目指します。
- 「CIB（クラスCh-JPY）」「CIB（クラスCfydh-JPY）」は、米ドル売り円買い*の為替取引を行ないます。また、「CIB（クラスC）」「CIB（クラスCfyd）」は原則として対円での為替ヘッジを目的とした為替取引を行ないません。
*米ドル売り円買いとは、実質的な通貨配分にかかわらず、原則として純資産総額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行なうことをいいます。従って、保有する実質的な外貨建資産について対円での為替ヘッジを目的とした為替取引を行ないません。

投資リスク

基準価額の変動要因

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて内外の投資信託証券に投資を行ない、値動きのある有価証券等に投資します。このため、当ファンドの基準価額は、実質的な組入有価証券等の値動き等により変動しますので、当該組入有価証券等の価格の下落や、組入有価証券等の発行者の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。**従って、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの運用による損益は全て投資者に帰属します。**
投資信託は預貯金と異なります。

基準価額の変動要因は、次の各リスクに限定されるものではありません。

● 価格変動リスク

当ファンドが実質的に投資を行なう株式・債券等の価格は、政治・経済・社会情勢、株式等の発行企業や債券等の発行体の業績や信用度、金利の変動、市場の需給関係等を反映して変動します。債券等には債務不履行等となるリスクもあります。当ファンドが実質的に投資している株式・債券等の価格が下落した場合には、当ファンドの基準価額が下落し投資元本を割り込むことがあります。

● 為替変動リスク

「インビル（米ドル売り円買い）」「インビル（分配重視/米ドル売り円買い）」が実質的に投資する「キャピタル・グループ・キャピタル・インカム・ビルダー（LUX）（クラスCh-JPY）/（クラスCfydh-JPY）」は、実質的な通貨配分にかかわらず、原則として純資産総額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行ないます。従って、当該外国投資信託証券が保有する実質的な米ドル建て資産については、為替変動の影響は低減されます（ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。）が、当該外国投資信託証券が保有する実質的な米ドル建て以外の資産については、米ドルに対する当該資産通貨の為替変動の影響を受けます。なお、為替取引を行なうにあたり取引コスト（「取引コスト」とは、為替取引を行なう通貨の金利と円の金利の差に相当し、円の金利の方が低い場合この金利差相当分収益が低下します。）がかかります。

「インビル」「インビル（分配重視）」が実質的に投資する「キャピタル・グループ・キャピタル・インカム・ビルダー（LUX）（クラスC）/（クラスCfyd）」は、原則として対円での為替ヘッジを目的とした為替取引を行なわないため、為替変動リスクがあります。

新興国通貨の為替相場は短期間に大幅に変動することがあり、先進国通貨と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。これら為替変動の影響は、基準価額の下落要因となり、投資元本を割り込むことがあります。

（次ページへ続く）

● 金利変動リスク

当ファンドが実質的に投資を行なう株式・債券等の価格は市場金利の変動により変動することがあり、これに伴い基準価額が下落することがあります。経済環境にもよりますが、一般的に株式・債券等は金利が上昇した場合には価格が下落し、金利が低下した場合には価格が上昇する傾向にあり、基準価額の変動要因となります。ただし、その価格変動は経済情勢や企業業績動向等により異なり、また債券の場合には残存期間・発行条件等によっても異なります。

● 信用リスク

株式・債券等の発行体が経営不安、倒産、債務不履行となるおそれがある場合、または実際に債務不履行となった場合等には、当ファンドは実質的に保有する有価証券等の価格変動によって重大な損失を被ることがあります。

● デリバティブに関するリスク

当ファンドが実質的に投資する外国投資信託証券は、デリバティブとよばれる金融派生商品を売買することがあります。当該商品の取引相手の業績悪化（倒産に至る場合も含まれます。）等の影響により、予め定められた条件で取引が履行されない、取引の決済の際に反対売買ができない場合等には、ファンドの資産価値が減少し、当ファンドの基準価額の下落要因となることがあります。

● 流動性リスク

有価証券等を売却あるいは購入しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や、取引規制等により十分な流動性の下での取引を行なうことができない場合には、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となり、基準価額の下落要因となることがあります。

● カントリーリスク

投資対象としている国や地域において、政治・経済・社会情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合等には、予想外に基準価額が下落したり、運用方針に沿った運用が困難となったりする場合があります。特に新興国や地域では、政情に起因する諸問題が有価証券や通貨に及ぼす影響が先進国と比較して大きくなる場合があります。

収益分配金に関する留意点

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間における当ファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者の当ファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。当ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性があります。
- 当ファンドは、主要投資対象とするマザーファンド（マザーファンドの投資対象ファンドを含む。）が有するリスクを間接的に受けることになります。

キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド
 キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド (米ドル売り円買い)
 キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド年2回決算 (分配重視)
 キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド年2回決算 (分配重視/米ドル売り円買い)
 追加型投信/内外/資産複合

お申込みメモ

購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社が指定する期日までにお支払いください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社でお支払いします。
申込不可日	委託会社のホームページ(capitalgroup.co.jp)に申込不可日を掲載します。 申込不可日は、ルクセンブルクの銀行の休業日を含むマザーファンドが投資する投資対象ファンドの非営業日に当たる日です。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行なうため、1日1件10億円を超える換金は行なえません。また、信託財産の残高規模、市場の流動性の状況等によっては、委託会社は、一定の金額を超える換金のご請求に制限を設けること、または純資産総額に対し一定の比率を超える換金のご請求を制限する場合があります。
購入・換金等 申込受付 の中止及び取消し	取引所等における取引の停止等、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金・スイッチングのお申込みの受付を中止することおよびすでに受けた購入・換金・スイッチングのお申込みの受付を取消すことがあります。
スイッチング	販売会社指定のファンド間でスイッチングが可能です。販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行わない場合があります。
収益分配	「インビル」「インビル (米ドル売り円買い)」 年1回 (6月20日) の決算時に原則として、分配方針に基づき分配を行ないます。ただし、委託会社の判断により収益分配を行なわないことがあります。なお、分配金の再投資が可能です。 「インビル (分配重視)」「インビル (分配重視/米ドル売り円買い)」 年2回 (6月20日および12月20日) の決算時に原則として、分配方針に基づき分配を行ないます。ただし、委託会社の判断により収益分配を行なわないことがあります。なお、分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA (少額投資非課税制度) の適用対象となります。当ファンドは、NISAの対象ではありません。 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

※購入・換金のお申込みの方法等は、上記と異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	販売会社にお問い合わせいただくか、手数料を記載した書面をご覧ください。なお、手数料率の上限は、購入申込受付日の翌営業日の基準価額に対して 3.30% (税抜3.00%) です。
信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に対して 年率1.232% (税抜1.12%) の信託報酬率を乗じて得た額とします。信託報酬は、日々計上され、当ファンドの基準価額に反映されます。 なお、「インビル / (米ドル売り円買い)」は毎計算期間の最初の6ヵ月の終了日および毎計算期末または信託終了時に、「インビル (分配重視) / (分配重視/米ドル売り円買い)」は毎計算期末または信託終了のときに当ファンドから支払われ、その支払先への配分等は下記のとおりです。 信託報酬の支払先への配分および役務の内容、ならびに実質的な負担
	信託報酬 年率1.232% (税抜1.12%)
	委託会社 年率0.55% (税抜) 委託した資金の運用等の対価として
	販売会社 年率0.55% (税抜) 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価として
	受託会社 年率0.02% (税抜) 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価として
	投資対象とする外国投資信託の信託報酬 年率0.00%
	投資対象とする国内投資信託の信託報酬 年率0.007%程度
	実質的な負担*1 年率1.239%程度 (税込)
その他の 費用・手数料	法定開示にかかる費用 (監査費用、法定書類の作成および印刷費用等) 年率0.05%以内 (税込)、資産管理費用、資金の借入に伴う借入金の利息および有価証券の借入に伴う品借料、受託会社による資金の立替に伴う利息、有価証券等の売買委託手数料等、投資対象とする外国投資信託のファンド管理費用が信託財産より支払われます。 これらの費用等は運用状況等により変動するものであり、その全てについては事前に料率、上限額を表示することができません。

※上記の費用の合計額については、ファンドの保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

当資料の最終ページに記載した「当資料のご利用にあたっての注意事項」をお読みください。

キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド
 キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド（米ドル売り円買い）
 キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド年2回決算（分配重視）
 キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド年2回決算（分配重視/米ドル売り円買い）
 追加型投信/内外/資産複合

ファンドの関係法人

- 委託会社** **キャピタル・インターナショナル株式会社**
 商号/キャピタル・インターナショナル株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第317号
 加入協会/ 一般社団法人資産運用業協会
 委託会社は、信託財産の運用指図、受益権の発行、目論見書および運用報告書の作成等を行ないます。
- 販売会社** 販売会社一覧をご覧ください。
 販売会社は、当ファンドの募集の取扱い、一部解約に関する事務、収益分配金の再投資に関する事務、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いに関する事務等を行ないます。
- 受託会社** **みずほ信託銀行株式会社**
 受託会社は、信託財産の保管・管理等を行ないます。

販売会社一覧（2026年5月7日現在）

投資信託説明書(交付目論見書)は下記の販売会社で入手することができます。

商号	登録番号等		加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第67号	○	○		
株式会社SBI証券*	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○	○	○
株式会社スマートプラス	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3031号	○	○		○
北洋証券株式会社	金融商品取引業者	北海道財務局長（金商）第1号	○			
みずほ証券株式会社*	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第94号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

*上記の協会のほか、一般社団法人日本STO協会に加入

キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド
 キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド (米ドル売り円買い)
 キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド年2回決算 (分配重視)
 キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド年2回決算 (分配重視/米ドル売り円買い)
 追加型投信/内外/資産複合

ファンドの名称について

ファンドの名称は表に記載の略称等であることがあります。

正式名称	略称
キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド	「インビル」
キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド (米ドル売り円買い)	「インビル (米ドル売り円買い)」
キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド年2回決算 (分配重視)	「インビル (分配重視)」
キャピタル・インカム・ビルダー・ファンド年2回決算 (分配重視/米ドル売り円買い)	「インビル (分配重視/米ドル売り円買い)」

※ 上記ファンドを総称して「ファンド」または「当ファンド」ということがあります。また、各ファンドを「ファンド」または「当ファンド」ということがあります。

正式名称	略称
キャピタル・インカム・ビルダー・マザーファンド	「インビルマザー」
キャピタル・インカム・ビルダー・マザーファンド (米ドル売り円買い)	「インビルマザー (米ドル売り円買い)」
キャピタル・インカム・ビルダー・マザーファンド (分配重視)	「インビルマザー (分配重視)」
キャピタル・インカム・ビルダー・マザーファンド (分配重視/米ドル売り円買い)	「インビルマザー (分配重視/米ドル売り円買い)」

※ 上記ファンドを総称して、または各マザーファンドを「マザーファンド」ということがあります。

正式名称	略称
キャピタル・グループ・キャピタル・インカム・ビルダー (LUX) (クラス C)	「CIB (クラスC)」
キャピタル・グループ・キャピタル・インカム・ビルダー (LUX) (クラス Ch-JPY)	「CIB (クラスCh-JPY)」
キャピタル・グループ・キャピタル・インカム・ビルダー (LUX) (クラス Cfyd)	「CIB (クラスCfyd)」
キャピタル・グループ・キャピタル・インカム・ビルダー (LUX) (クラス Cfydh-JPY)	「CIB (クラスCfydh-JPY)」

※ 上記ファンド (クラス) を「キャピタル・グループ・キャピタル・インカム・ビルダー (LUX)」、「CIB」、「キャピタル・グループ・キャピタル・インカム・ビルダー (LUX) (クラスC) / (クラスCh-JPY) / (クラスCfyd) / (クラスCfydh-JPY)」、「CIB (クラスC) / (クラスCh-JPY) / (クラスCfyd) / (クラスCfydh-JPY)」とすることがあります。

日本短期債券ファンド (適格機関投資家限定)	日本短期債券ファンド
------------------------	------------

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は当ファンドの商品説明用資料として当社が作成した資料であり、法令に基づく開示資料ではありません。ファンドの取得のお申込みを行なう場合には、販売会社よりお渡する投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、お客様自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成していますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 当資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等は過去のものであり、将来の市場環境・運用成果等を示唆または保証するものではありません。
- 当資料に記載された市況や運用に関するコメント等の内容は作成日現在の当社見解であり将来の動向や結果を保証するものではなく、また将来事前の予告なく変更されることがあります。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますのでその値動きに伴い基準価額が変動します。従って投資元本および運用成果が保証されているものではなく、また投資信託財産に生じた損益は全て投資家の皆様に帰属します。
- 投資信託は、預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金の対象にはなりません。
- 当資料中では四捨五入で処理した数値を用いる場合がありますので、誤差が生じることがあります。